

## あなたの笑顔希望につなげて!

今、被災された人々が必要に思うものは、それぞれの方の「くらしの違い」が出てきているため、ずいぶん異なっています。しかし、私たちが前回送った「癒しの音楽C. D&ラジカセ」はどの方からもとっても喜んで頂きました。お礼状の中に「決して買うことの出来ないC. D. そこに込められた温かさに励まされています。」など感謝のことばが書かれています。今日は「あの日」から1年半です。1万8千人以上の命が失われ、今なお34万人の方々が避難生活を余儀なくされています。その上、被災者が毎日、目の当たりにする風景は、被災当時とあまり変わっていません。従って日常に戻っても思い出したくない「あの日の事」はいやがおうでも忘れることが出来ません。そんな日々の中で、諦めずに明日に向かって歩む力はどうしたら沸くのでしょうか??

## 実行委員会は考えました!

私たちの笑顔を送ろうと思いました。

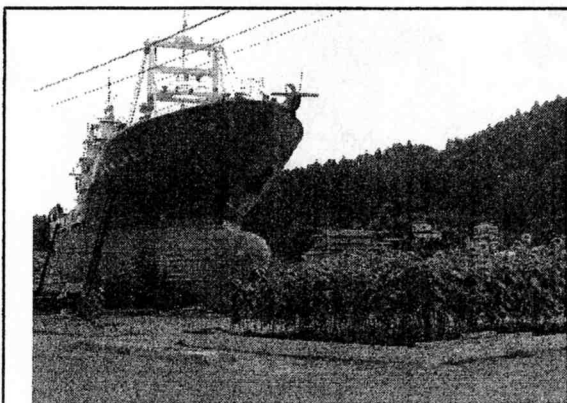
被災者は、たくさんの思い出が詰まったアルバムを津波で流されてしまいました。日が経つにつれ希望も失いかけている人が出てきています。それでも被災者は一生懸命に、日々新しい歩みを進めています。その歩みを私たちの笑顔で応援していこうと。そこで「オリジナルアルバム」を作成して送ろうと思います。もちろんカメラ付きです。そのアルバムの表紙に、「私たちの笑顔」を載せます。「オリジナルアルバム」に託す願いは、「被災者の方々の笑顔の写真」そのアルバムのページを埋め尽くされる日が訪れるようにと…

## 笑顔写真支援にご協力を!

文化祭の展示コーナーにお越し下さい。

あなたの被災地応援の気持ちを込めたサイコーの笑顔の写真を撮らせてください。

展示は、最近の被災地の様子を紹介します。また、喜んでもらっているCDを聞いてもらえます。被災者のお礼状に返事を書くコーナーもあります。是非立ち寄って下さい。



今、被災地では震災の記憶を後世に伝える遺構を残すかどうかについての意見が分かれています。「辛い記憶を呼び起こすから撤去して欲しい」と願う被災者が多いと言う。一方、観光客の多くは「被害を伝えるためには残して欲しい」と願う。これは気仙沼鹿折地区に打ち上げられた大型漁船「第18共徳丸」をめぐるアンケート結果だそうです。広島の原爆ドームについても当時は残すことに多くの人が反対だったそうです。

あなたならどう思う??

# レポート

今回は、ガン患者を支援する活動を続けられておられる竹内さんに、被災地福島での活動や、相馬市や南相馬市に病院を建設するための支援について紹介して頂きます。「私たちにできること」についても考えてみたいですね！

【被災地復興に向けて「美楽る（ミラクル）キャップ」ができること】

竹内 香（高校3年保護者）

少し前のことになりますが、5月18～20日に福島市と相馬市を訪問いたしました。がん患者さん支援活動を様々な視点から取り組んでいる、NPO法人「京都在ん医療を考える会」の活動の一環として、約10名での訪問でした。

相馬市で、乳がんの患者会をされている高橋さんとおっしゃる美容師さんと出会いました。高橋さんは「美楽る（ミラクル）キャップ」というユニークな帽子を制作、実用新案も取得、発明大賞奨励賞も受賞したそのキャップは、NHK「スタジオパークからこんにちは」でも紹介されたそうです。

高橋さんの暮らす相馬市は、もともと医療施設の過疎地であった上に、震災後さらに医療施設・医療者不足が深刻な状況です。相馬の人々が仮にがん診療拠点病院を受診しようとした場合、1時間半バスで山道を揺られ、福島市まで通わなければならない現状にあります。

福島でお話を伺った福島大学元副学長の中川勝巳先生は、被災地の人々は放射能リスクだけでなく、避難リスクも抱えているとお話されていました。遠い京都から見ていると、まず放射能によるリスクが見えがちですが、避難して生活が変わってしまった事によるリスクも、ひとりひとり状況が異なるがゆえに大変むずかしい問題があると伺いました。

そんな複雑なリスクの中、既に糖尿病や鬱の患者さんがとても増えているそうです。2人に1人ががんになる時代です。がんに対する注意も配慮も、非常に重要な課題です。

「京都在ん医療を考える会」では、医療過疎地である相馬・南相馬の地に総合医療施設の設置が急務であると考え「美楽るキャップ」の売り上げの一部を病院設置のために役立て、同時に被災地の雇用問題にも取り組んでいけたらと考えています。

つばあり・つば無しのキャップとして、ヘアバンドやターバンのように、襟元の保温にも使え、ソフトなかぶり心地のために髪型が崩れたりもせず、折りたたためて携帯も便利という本当に“ミラクル”なキャップです。いろいろな生地で作れるので、使用生地によっては和風にも、カジュアルにも（ロックにも？）なります。

使い方のアイデア、販路のヒントなど、一緒に考えていただけませんか… 少し長い目でみた、とても大きな被災地支援のひとつになると思います。どうぞお力をお貸しください。



福島の女子高生たちとお話しました：ミラクルキャップと高橋さん：美楽るキャップ